埼玉県立深谷商業高等学校発行　　令和２年12月１日

創立９９年の歴史と伝統
県内商業高校ナンバーワンの実力
ビジネス界をリードする人材の育成

深商通信

〒366-0035　深谷市原郷80番地
ＴＥＬ048(571)3321　URL：http://www.fukasyo-ch.spec.ed.jp
ＦＡＸ048(570)1016　Mail：kyomu_10@fukasyo-ch.spec.ed.jp

深谷商業高校

全商検定1級3種目以上合格者数
9年連続100名超、県内トップ（16年連続）
全国ランキング第20位　120名取得（令和元年度卒業生）

「一〇〇年の想い　今、未来へ」

校長　峰　稔浩

本校は、一貫して商業教育一筋に歩み続け、百年の年月を経て二万七千余の卒業生を世に送り、地域社会はもとよりわが国経済界の発展に多大の貢献をして参りました。二層楼創建時の大正十一年十月一日には、深谷市出身の近代日本資本主義の父と言われた渋沢栄一翁が来校され、「至誠」「士魂商才」の額を揮毫され講演を行っていただき、商業教育の真髄をお示しくださいました。これが校訓として定められ、以来百年、本校教育の根本理念として継承されてきております。

いま新型コロナウイルス感染による世界的なパンデミックの中、今年度に計画していました記念事業を変更せざるをえず、記念式典については次年度開催といたしました。その中で、テーマを「一〇〇年の想い　今、未来へ」とし、創立以来百年の歴史を振り返るとともに、学校をとりまく環境が変化する中で「学校力」をアップさせ、これからの商業教育のリーディング校としての期待に応え、社会に通用する人材を育成するという本校に課せられた使命をあらためて自覚し、生徒一人一人を確実に伸ばすとともに、生徒が自分の力を十分に発揮できる学校づくりを実現できるよう努めていかねばならないと考えております。

今後も、地域の皆様のご支援・ご協力をいただきながら学校運営に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

創立百周年記念事業特集

コロナ禍のため、今年度予定していた記念式典・祝賀会を来年度に延期いたしました。実施日は、令和三年十一月二十日（土）に実施する予定です。会場は、深谷市民文化会館で変更はありません。そして、その他の記念事業は予定通り進めています。

主な事業内容は、「航空写真（人文字）」・「モニュメント時計の設置」・「記念品準備」・「横断幕の設置」・「ポスター作成・配布」「記念誌発行」で、進捗状況を紹介します。

●航空写真（人文字）

十月十五日（木）、中間考査最終日に航空写真を撮影しました。生徒及び教職員合わせて約九〇〇人が参加しました。この写真は、記念誌への掲載や全生徒に一枚ずつ配布する予定です。また、航空写真を活用した、クリアファイルを作成し併せて配布します。デザインは、生徒から募集しています。

写真：ひまわり空撮

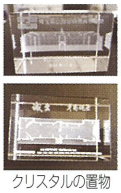
●モニュメント時計の設置

十一月十七日（火）、モニュメント時計が完成しました。高さ五・五mで中庭のモニュメント像の近くに建てられました。デザインは、二層楼をイメージし、時計の文字盤は、二層楼にある大正十年に製造された大きな定規時計を参考に作製しました。新たな深商のシンボルになることを期待しています。

●記念品準備

記念品として、生徒・教職員に「記念タオル」・「Tシャツ」、PTA会費より保護者に「Tシャツ」、教職員に「ポロシャツ」を用意しました。その他に「クリスタルの置物」を準備しています。なお、「記念タオル」・「Tシャツ」は、ハタヤスポーツ店でお買い求めできます。

記念タオル



クリスタルの置物

ポロシャツ

Tシャツ

●横断幕の設置

三種類の横断幕を、「北門付近」・「十七号沿」・「二階昇降口」に張りました。今後は、張る場所が決まっていませんが、垂れ幕を用意することを進めています。協力していただける関係機関等がありましたらご連絡ください。

●ポスター作成・配布

昨年度、生徒からポスターを募集しました。多くの応募の中から、今年卒業した韮塚さんの作品が選ばれました。このポスターは、各中学校への配布、深谷青年会議所等の協力を得ながら有効に活用できればと考えています。

韮塚拓海（令和元年度卒業生）

●記念誌発行

記念誌は、一〇〇〇部発行し生徒にはＤＶＤにして配布する予定でいます。内容は、百年の歩みとして、活躍している卒業生やお世話になった教職員の祝辞、写真等を掲載し、発行予定は今年の十二月を考えています。

新型コロナウイルス

●5月末まで臨時休業

今年度は、新型コロナウイルス拡大防止のため五月末まで臨時休業となり六月十九日（金）まで準備登校とし、学年ごとに登校しました。六月二十二日（月）から各学年が揃い平常授業がスタートし異例の年になりました。

この間、各教科からの課題を郵送したり、教育委員会が用意したＹｏｕＴｕｂｅを活用して教科によっては動画配信をして解説をしました。また、グーグルクラスルーム使い、学年・クラス担任から各種の連絡を行い生徒とのコミュニケーションを図りました。

●校内での新型コロナウイルス対策

通常授業になってからは、「通常登校におけるガイドライン」に沿って「三密」に配慮して校内の衛生管理に努めています。

授業中におけるマスク着用の徹底や教室・廊下・トイレに消毒液を設置しました。また、食堂は、透明のアクリル板のつい立や水栓はレバー式に換えました。

地域との交流

●授業「商品開発」を通して地域連携

昨年度、本校生徒と深谷市岡部の西倉西間堂で協働して「渋沢栄一翁が愛したオートミールクッキー」を開発しました。生徒は、栄一翁が好んで食べたものを調べ、オートミール（オーツ麦を食べやすく加工したもの）に注目しました。

「何度でも食べたい」と思うようなクッキーを目指して制作した商品は、「二枚入」と「十二枚入パッケージ」で販売されています。

写真：埼北よみうり

●吹奏楽部

十月三十一日（火）、深谷青年会議所主催の「ハロウィンイベント２０２０」が、深谷市仲町商店街（にぎわい通り）周辺で行われました。本校の吹奏楽部の生徒が参加し、今年度初めて、演奏を披露しました。

学校行事トピックス

学校行事（文化祭・芸術鑑賞会・ＰＴＡ行事等）が中止になる中で、「深商ハイク」「体育祭」が行われ、修学旅行は二月に実施する予定です。

●深商ハイク

十月二日（金）、秋晴れの空の下、今年初めて全校生徒による「深商ハイク」が行われました。「栄一を知り、ええ一日にしよう！」をキャッチフレーズに、本校から「青淵公園」まで九キロを歩きました。生徒の笑顔が印象的でした。

小山川沿い

●体育祭

五月に実施される予定の第七十三回体育祭が、コロナ禍で十月三十日（金）に開催されました。「三密」を避けるため、競技を絞り午前中までとし、生徒と教職員のみで実施されました。特に新種目である「ソーシャルディスタンスリレー」では、競技者も観客者も楽しむことができました。閉会式は、教室で放送によって行われました。

ソーシャルディスタンスリレー

小学校との交流

今年は、コロナ禍で深商の生徒たちが常盤小学校へ出向き、パソコン授業のアシスタントや運動指導などを行う交流が行われませんでした。その代り、常盤小学校から写生会や施設見学で訪れました。

●社会科見学

十一月五日（木）、四年生約一一〇人の児童が、本校記念館（二層楼）を初めて見学しました。みんな真剣な表情で写真等を眺めていました。特に、渋沢栄一翁の展示室は、時間をかけて見学をしていました。

トイレ改修工事

七月下旬から九月上旬にかけて、一号棟の東側のトイレが改修されました。

これで、最も建築年数が経っている一号棟のトイレすべてが新しくなりました。和式から洋式になり、明るく快適になりました。

資格取得状況

令和元年度卒業生の主な資格の取得実績

・全国商業高等学校協会主催
　簿記実務検定１級　97人
　情報処理検定１級　96人
　珠算電卓検定１級　259人
　ワープロ実務検定１級　67人
　英語検定１級　1人
・日本商工会議所主催
　簿記検定２級　20人
・ＩＰＡ（経済産業省）
　基本情報技術者試験　5人
　ＩＴパスポート試験　16人

進路状況

深商は資格取得を就職だけではなく、大学進学にも生かしています。

令和二年三月の卒業生は、前年に比べて就職の割合が減少し、60％が進学しました。就職は、学校推薦による内定率は100％でした。前年度に引き続き保護者向けに学校ホームページで求人情報を提供するなど工夫をしています。

大学は、ほとんどの生徒が指定校推薦での合格ですが、ここ数年を平均すると約60％の進学率になっています。

今年度は、コロナ禍で、例年より一ヶ月遅れの就職試験になり、採用も厳しい状況です。進学では、指定校推薦の条件も少しずつ厳しくなっています。

令和２年３月卒業生の進路先

進路先	人数	割合
大学	41	15.1%
短大	15	5.5%
専門学校	107	39.4%
就職	109	40.0%
合計	272	100.0%

〈主な進学先〉
中央大、専修大、日本大、東洋大、東京電機大、東京経済大、立正大、城西大、獨協大、武蔵大、高崎商科大、拓殖大、東京家政大、他